

(一社) 神奈川県建築士会 防災委員会

平成 29 年度 第 2 回 防災委員会 議事録

場所 建築士会サロンスペース

日時 平成 29 年 7 月 11 日 (火) 午後 6 時～8 時

出席者 防災委員会：東・雨森・高戸・滝口・内田・才上・遠藤・丹治・(仲原)・相磯

事務局：飯田 議事録作成者：丹治 () 内は欠席

□常任理事の挨拶等

- 1 理事選挙により選出され、今後も防災員会で活動していく。
7/6 に臨時理事会が開催され、別紙の H29, 30 年度の士会役員・組織構成が決まった。
新副会長に上原氏 (川崎支部) が選任された。雨森は常任理事として防災委員会の担当を継続する。
- 2 新年度を迎え、各防災員へ建築士会緊急連絡網の情報更新をお願いし、ほぼ完了したので確認願いたい。
- 3 キャラバン隊の登録名簿の情報更新をお願いしているが、各支部では登録者個別に、継続の意思確認をしながら、正確な名簿作成を願いたい。
支部別の最終名簿は、雨森宛にメール添付等で送信願いたい。
- 4 神奈川大学の荏本教授による講演会について
日時：9 月 22 日 (金) の午後 6 時から 8 時で内定している。会場：横浜市開港記念会館 1 号館

雨森談：「講演の内容等は、未定であるが、先生は地盤関係が専門、防災だるま塾の塾長として各方面で活躍中。NHK テレビ出演もされた人物なので、私としては「建築士を対象とした先生の専門分野とか防災に関する防災意識向上に役立つような話が聞ければと考えている。」

(会議中に玉野理事より雨森理事宛の電話あり、中座した。)

雨森談：電話の内容は「荏本先生の講演会にハマ建 (横浜市建築士事務所協会) と一緒にコラボ企画として出来ないか、ハマ建では「宅地カルテ」を作成し周知を図りたい考えがある。荏本先生は地盤に関する専門家なので、今回の防災委員会の講演と一緒に何かできないだろうか」のこと。

- ・この相談を持ちかけられた経緯を雨森様から再度説明がなされ、防災委員会のメンバーとして議論をした。結論としては日時も決まっており、周知する方法や機会も少なく準備期間も限られていることから、今回はあくまでも防災委員会だけの企画として実施するという方針が確認された。
今後、荏本先生と講演内容等の相談をする中で時間配分等の検討しながら「宅地カルテ」に関する説明等の可否につき、具体的に検討することとなった。
- ・周知方法につき、高戸委員から「建築士 8 月号に同封する「掲示板」の原稿は、7/20 頃が締め切りなので予告記事程度の講演会内容が必要。9 月号にはチラシを入れる。11 月に発行する「サロン」への掲載記事に関する締め切りは、10 月上旬と思われる。旨の発言があった。いずれにしても今後、雨森理事や東委員長が中心となり荏本先生との協議をする中で、「ハマ建」の関わり方等を検討していくこととなった。

□東委員長の挨拶等

- 1 関プロ大会の報告：全体で 670 名前後の参加者だった。第一分科会で神奈川代表として内田委員から、女性委員会とのコラボセミナー活動等について、7 分という発表時間内で終えた。
結果は選外となり、長野県代表が全国大会での発表者と決定した。
- 2 委員会等出席にかかる交通費について：
今後は、各回の委員会開催時の出欠や行事出張等は委員会が情報集約し、出欠データ等を委員会の会計担当が事務局に伝え、事務局は四半期毎にまとめて払う方式となった。なお、6 カ月間以上交通費が渡せな

い状況等の場合、今後は事務局から該当委員口座への振り込みの処理をする方法となった。

3 今後の事務局職員の関与度について

講習会等の会場確保の情報などの相談に事務局は応じるが、会場予約や申込手続き等は委員会が行うことになった。従来は事務局職員が業務の合間にて便宜を図ってきたが、事務局での業務繁多による困難性のため。

□議 題

1 前回議事録の確認：省略した。

2 副委員長他各担当の選任について

副委員長に、才上委員が選任された。

会計担当：丹治（再任）とした。

3 年間計画表を定めたので各委員、各種事項別としているので内容を確認しておいてほしい。

4 荏本先生の講演会開催について（雨森）

今後、8月、9月の配布物や「サロン」同封のチラシ作成担当者を決める必要あり。

（参加申込書のメール申込みについては、宛先アドレス情報としてメーリングリストに防災委員会でも同時把握できるようにする）

事務局へ資料差し込み依頼とメルマガ掲載依頼 ⇒ 事務局荒尾さん宛に手配のこと。

広報活動等；前述の通り

5 今年度の活動方針について

・ 昨年度からの懸案事項について

東： 「被災地マニュアル」が、（前副委員長の大橋氏担当）未了となっている。本年も、引き続き、作成し、完成をさせたい。委員の考えを聞きたい。

委員：被災地マニュアルとあるが、初めての防災委員会なので、どのようなものなのか、知りたい。

委員：この「被災地マニュアル」は神奈川県及び周辺地域外で地震等が発生した際、国・県等の関係機関から神奈川県建築士会宛に要請があり、派遣することに決定した時の心得や持参品、注意事項等を記載したマニュアルが主のもの。いわゆる神奈川県から出向く時のもの。

一方、神奈川県等が地震で被災した時のマニュアルを作ろうとしているが、本質的には前者と内容が異なると思う。これは、私共が被災地で、他県等から派遣されて来る方々を迎え入れる時のものを作ろうとしている？この趣旨に沿って神奈川県が実施している仮設住宅の建設計画等の進め方に関するワークショップなどはこれにあたる。住宅供給公社が行っている東日本大震災にかかる被災者向け住宅も同様と聞いている。二つのマニュアル作りは、かなり重いものであると考えている。

*受け入れ態勢のマニュアルではないことを、ご理解ください。（雨森）

東委員長：今日の意見を参考に次回までに、考えをまとめる事とする。

- ・ 次回の委員会の予定 ・ 平成29年9月12日（火）場 所 建築士会会議室 18時より